

対象サービス名 / e-Learning Navigware

Case Study

テンプスタッフ株式会社 様

富士通のSaaS型eラーニングサービスにリプレイスし、講座修了率の向上、コストダウンという課題を解決しました。

業 種	人材派遣・人材紹介業
ソリューション	SaaS型eラーニングサービス
製 品	e-Learning Navigware

人材派遣事業のバイオニアであるテンプスタッフ株式会社様では、登録スタッフの教育研修を強化するために2005年よりeラーニング教育システムを導入しています。近年の教育ニーズの変化とともに、コストの見直しや管理機能の強化など新たな課題に直面。2008年11月、富士通のSaaS型eラーニングサービス「e-Learning Navigware」を導入し、これらの課題を解決するとともに、教育研修の重要な基盤としてさらに幅広い展開を進めています。

課 題	講座修了率の向上	効 果	使い勝手のよい管理機能を利用し、学習状況の分析、フォローアップ機能による学習促進の取り組みが展開可能に。
	ランニングコストの削減		定額制から従量制への切り替えにより、従来と比較して年間1,000万円単位の経費削減を見込む。
	教材コンテンツ公開までの期間短縮		従来はベンダー委託により数ヶ月の時間を要したアップロード/公開が1日もかからず可能に。

テンプスタッフ株式会社
スタッフینگ企画部 部長
乾 美由紀 氏



テンプスタッフ株式会社
スタッフینگ企画部 スタッフ教育支援室 室長
佐々木 裕子 氏



導入の背景

教育ニーズの変化に対応する強固な教育基盤を模索していたのです。

テンプスタッフ株式会社様（以下、テンプスタッフ様）では、教育研修の充実を目的に、2005年10月、eラーニング教育システム「aca-ne（アカネ）」をスタートさせました。登録スタッフが自宅で学べるeラーニングは、全国展開を進める上できわめて魅力的な教育システムです。しかし、最近、教育ニーズへの高度化・多様化に対応するために、さらなる教育基盤が必要になってきました。

[佐々木様]

「従来のシステムは、学習の進捗管理を受講者任せにしており、弊社で管理していない状況でした。そのため、受講申し込みIDを取得したにもかかわらず講座を最後まで修了しないケースが多く見られるようになりました。また、インフラとして利用していたASP^{注1}型eラーニングサービスは一定ID数毎の定額制で、契約したID数を上回る使用はできず、受講者の数が増えるともまった単位のID数を追加契約する必要がありました。そこで、進捗管理とコストダウンの両方を実現できるサービスを模索していました」

注1: ASP

Application Service Providerの略で、ビジネス用アプリケーションをインターネット回線を通じて提供するサービス。

注2: SaaS

Software as a Service、サース。インターネット経由で提供するアプリケーションサービス。利用者の要望・業務の必要性に応じて、複数のサービスを組み合わせて利用できる。特長として以下の3点が注目されている。

- ・マルチテナント：一つの統一されたインフラに、複数顧客のサービスを搭載する技術
- ・マッシュアップ：複数のサービスを組み合わせて、新たな業務を実現する技術
- ・カスタマイズ：利用者の要望に応じて、画面などを変更できる仕組み

採用のポイント

豊富な経験と実績。それが、富士通を選択した最大の理由です。

テンプスタッフ様がeラーニングシステムの刷新を検討し始めたのは2007年12月のこと。新システムの検討にあたっては、3つのキーワードを重視しました。「管理機能」「コストダウン」「サポート力」です。そして、テンプスタッフ様が選択したのが、富士通が提供するSaaS^{注2}型eラーニングサービス「e-Learning Navigware（イーラーニング ナビウェア）」だったのです。

[佐々木様]

「私たちが期待したのは、eラーニングのエキスパートである富士通ならではの経験と実績でした。また、従量制のオンデマンド課金のため、大幅なコストダウンが見込めたことも大きな理由です」

システム導入までの流れ

新システムへの移行をわずかな期間で完了できたことに驚いています。

従来型eラーニングの場合、契約から運用開始まで一般的に約3ヵ月近い期間を要しますが、SaaS型の「e-Learning Navigware」なら、インストールやテストなどが一切不要のため、最短1週間で導入が可能です。テンプスタッフ様の場合、リニューアルを機に、約20ある教材をすべて自分たちでリメイクし、アップロードまで行いました。これだけのリメイクと移行をわずか2名の社員で3ヵ月という短期間に完了。こうして2008年11月、「e-Learning Navigware」による新eラーニングシステムがスタートしました。

新システムの機能ポイント

使い勝手のよい管理機能を高く評価しています。

「e-Learning Navigware」は、富士通が提供する最新のSaaS型サービスです。LMS^{注3}として470万人の利用実績を持つ富士通のeラーニングパッケージ「Internet Navigware (インターネット ナビウェア)」最新版の機能を提供。受講履歴やテスト結果の収集・分析、フォローアップメール発信、スタッフのスキルに応じた研修を行えるグループ管理機能など、使い勝手のよい管理機能を備えています。また、教材コンテンツを容易に制作することもできます。

注3: LMS

Learning Management System, ラーニングマネジメントシステム。学習者に問題を提示して回答させ、学習者が問題に正解することによって得られる得点を計算する際に、問題の配点や回答までに要した時間、誤答回数を考慮して得点に反映するシステム。

導入の効果

年間1,000万円単位のコストダウンを見込んでいます。

スタートして間もないながらも、確かな手応えを感じています。登録スタッフからの受講申し込みも順調に増加、「講座数をもっと増やしてほしい」といった前向きな声も早くも寄せられています。アイコンなども明快で操作しやすく、学習の進み具合を受講者自身で簡単に把握できるなどの点がモチベーションアップに結びついているようです。また、教材コンテンツのアップロードと公開も自分たちだけで、しかも数時間という短時間でできるようにしました。

〔佐々木様〕

「管理機能を使って受講状況などを分析し、修了率アップのための取り組みを推進します。学習の進捗確認やID継続確認などのメールを自動的に配信できるフォローアップ機能も活用したいと考えています。」

〔乾様〕

「従来のシステムとは規格や要件、弊社の要望スペックが異なるため、同基準での比較は困難ですが、ランニングコストについては年間1,000万円単位の削減を見込んでいます」

将来の展望

良きビジネスパートナーとして、さまざまなサポートを期待しています。

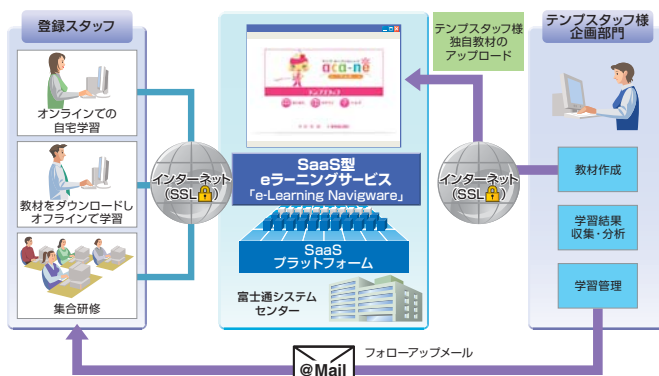
テンプスタッフ様では、「e-Learning Navigware」の充実した機能を活用し、教材コンテンツを拡充することで、登録スタッフ向けの研修環境のいっそうの強化に取り組んでいきます。また、eラーニングに限ることなく教育研修の重要な基盤として、多様な展開を進めています。

〔乾様〕

「受講者の拡大も重要なテーマです。グループ会社の登録スタッフや海外在住のスタッフへの拡大や自社社員向け研修のインフラとしての活用を検討しています。さらに今後は、オフラインや集合研修のインフラとしても活用していきます」

富士通は、eラーニング分野での豊富な経験を活かして、テンプスタッフ様の展開を今後もきめ細かくサポートしていきます。

●システム構成図



詳細はwebにてご覧いただけます。

掲載情報

<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/casestudies/2009/tempstaff/>

お客様概要

テンプスタッフ株式会社 様

- 所在地：東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿メインスタワー
- 従業員数 (連結)：2,682名 (2008年3月31日現在)
- 代表取締役社長：篠原欣子
- 事業内容：一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業、保育事業
- 設立：1973年5月
- ホームページ：<http://www.tempstaff.co.jp/>
- 資本金：9億9千5百万円

(注) 本事例中に記載の冊書きや数値、固有名詞などは掲載日現在のものであり、このページの閲覧時には変更されている可能性があることをご了承ください。

富士通株式会社

サービスビジネス本部 SaaSビジネス推進部

〒144-8588 東京都大田区新蒲田 1-17-25 (富士通ソリューションスクエア) TEL03-6424-6257 FAX03-6424-6451
<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/saas/e-learning/>